

セゾン共創日本ファンド 第2期運用報告会

セゾン共創日本ファンド
ポートフォリオマネージャー 山本 潤

SAISON
ASSET
MANAGEMENT

セゾン投信

本日の内容

- 運用報告 . . . P3
- 組入れ銘柄の解説 . . . P7
- エンゲージメントの方針 . . . P34
- 今後の運用方針 . . . P35

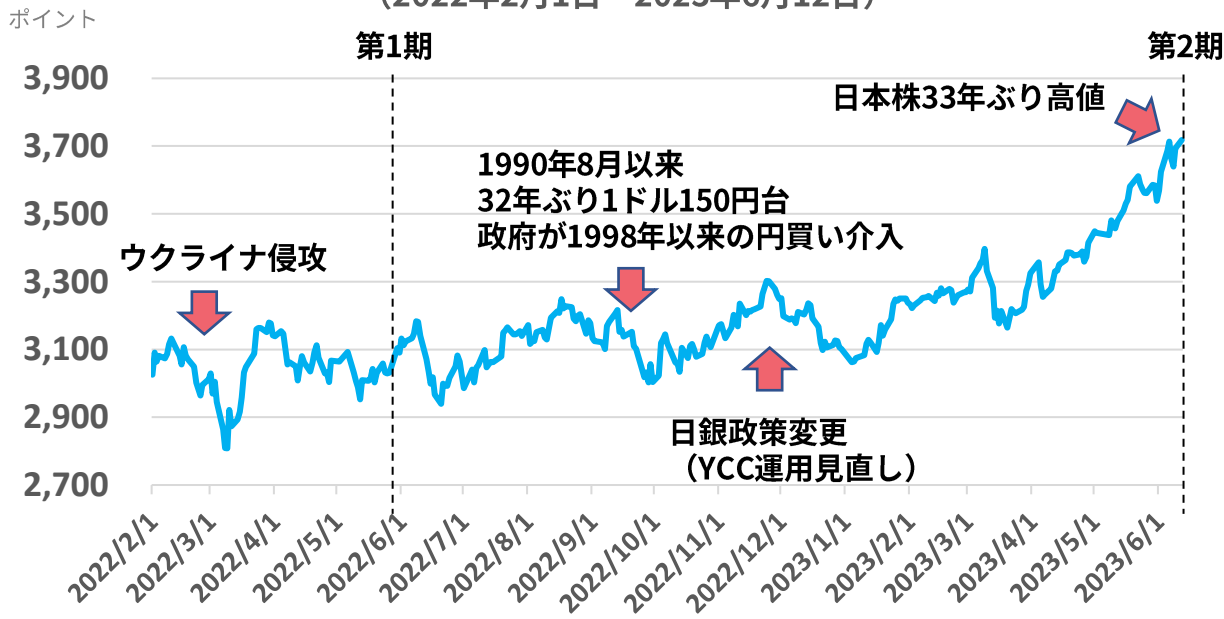
運用報告

運用報告 <投資環境>

- 原油価格などの商品市場の落ち着きにより、インフレ懸念が沈静化
- 値上げ→収益力の改善→増益→増配という好循環が生まれつつあり、日本株は33年ぶりの高値を記録

TOPIX配当込み

(2022年2月1日～2023年6月12日)



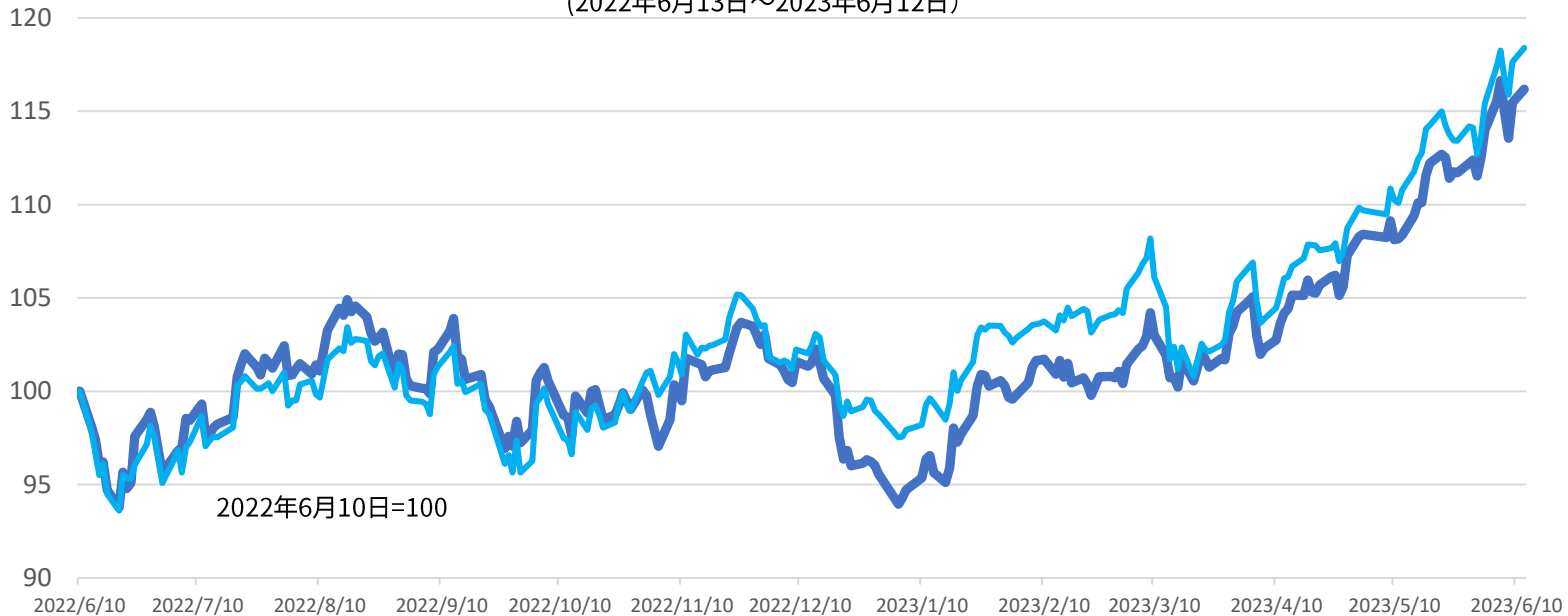
出所：Bloombergよりセゾン投信作成

運用報告 <TOPIXとの比較>

- 第2期決算期間のファンド基準価額とTOPIX配当込指数を比較（2022年6月10日=100）
- ファンド基準価額は+16.2%、TOPIX配当込み指数は+18.4%
- 銀行など金融セクターおよび卸売業、鉄鋼などを保有していなかったことで、ファンドはTOPIX配当込み指数から2.2%劣後

セゾン共創日本ファンドの基準価額とTOPIX配当込み指数

(2022年6月13日～2023年6月12日)



運用報告 <銘柄別寄与度分析>

上昇要因 ↑

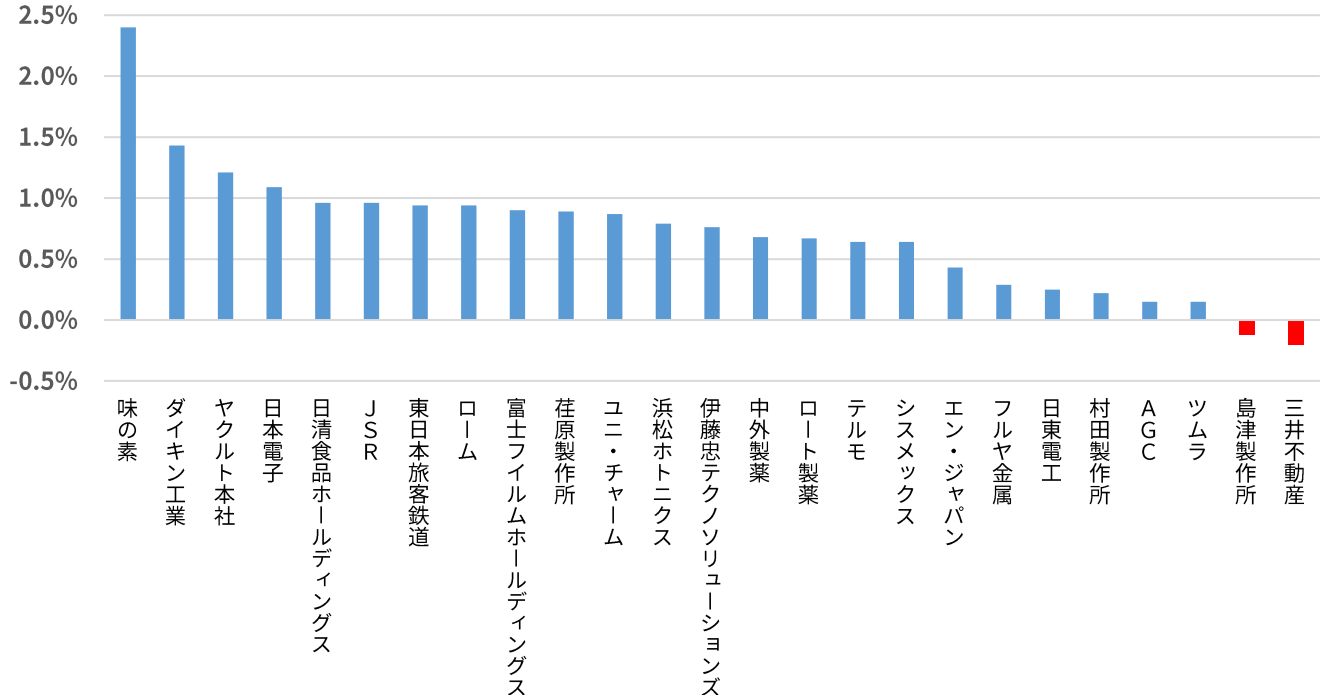
味の素、ダイキン工業、ヤクルト、日本電子が牽引
競争力の高い商品を成長ドライバーとして
海外市場の開拓に成功している投資先が、基準価額の上昇に寄与

下落要因 ↓

三井不動産、島津製作所が苦戦
長期的な業績拡大も期待できるため保有を継続

銘柄別寄与度

(2022年6月10日～2023年6月12日)



組入れ銘柄の解説

組入れ銘柄

組入れ銘柄（2023年6月末現在）

【組入銘柄】25社

■株式

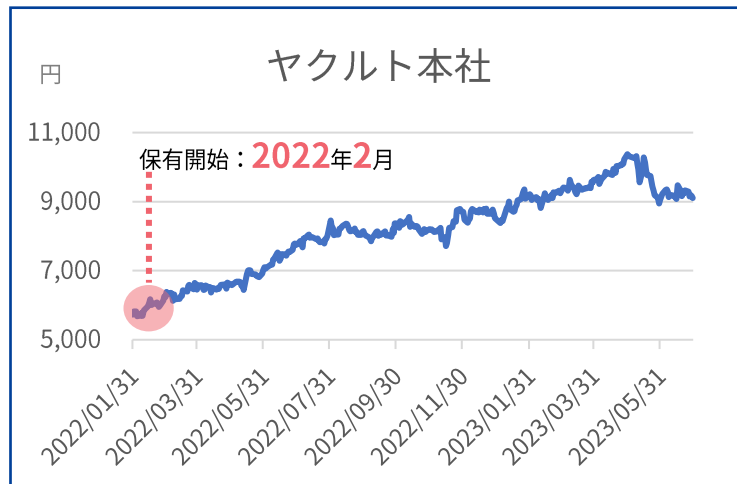
銘 柄	
ヤクルト本社	ダイキン工業
味の素	シスメックス
日清食品HD	日本電子
JSR	ローム
中外製薬	浜松ホトニクス
ロート製薬	村田製作所
ツムラ	日東電工
テルモ	島津製作所
伊藤忠テクノソリューションズ	フルヤ金属
エン・ジャパン	ユニ・チャーム
富士フイルムホールディングス	三井不動産
AGC	東日本旅客鉄道
荏原製作所	

(証券コード順)

ヤクルト本社 (2267)

プロバイオティクスで世界を健康に

- プロバイオティクスとは、人間や動物の体に良い働きをする生きた微生物
- 善玉乳酸菌を飲むことで腸内フローラが良い状態に。腸内環境と健康との関係を示すエビデンスが数多く発表
- ヤクルト1000が大ヒット。米国南部で販売好調。今後のグローバル展開に期待。ヤクルトレディのビジネスモデルは女性の社会進出を後押し



出所：Bloomberg

銘柄選定理由

- プロバイオティクスの健康への効果が論文などのエビデンスで出始めたこと
- 海外への拡販を期待している
- 女性を活用したビジネスモデルを評価している

味の素 (2802)

アミノ酸技術で生活を支える

- 創業来のアミノ酸技術を生かした調味料が主力。売上の半分以上は海外
- 投資家目線では、半導体部材メーカー。味の素ビルドアップフィルムという部材がほぼ100%¹のPCで使用されている
- 新規事業では、核酸医薬品や抗体医薬品の開発支援と製造に注力
- エンゲージメントの課題：冷凍食品事業の成長性と収益性が低い状態が続いている



出所：Bloomberg

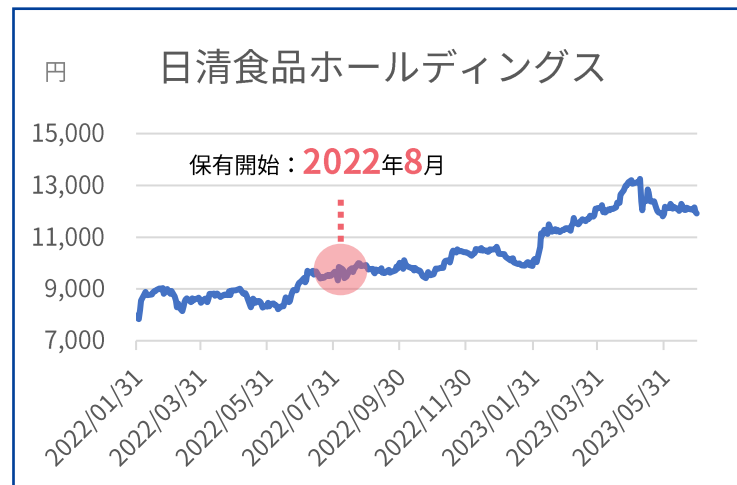
銘柄選定理由

- 高いシェアを誇る味の素ビルドアップフィルムの成長に期待できる
- アミノ酸技術から派生したユニークな核酸、抗体医薬品製造技術を有している

¹味の素株式会社『ABFフィルム』

「おいしい」を超えた食の世界を追求中

- 袋麺からカップ麺への変換が進み、商品単価が長期的に上昇している
- カップ麺の大型化、付加価値化が進み、さらに商品単価が向上する見通し
- 細胞からステーキ肉を育てる取り組みに注目。具材は大豆ミートなどの植物性タンパク質へシフト
- ウェルネス志向の高まりで減塩商品を拡充



出所：Bloomberg

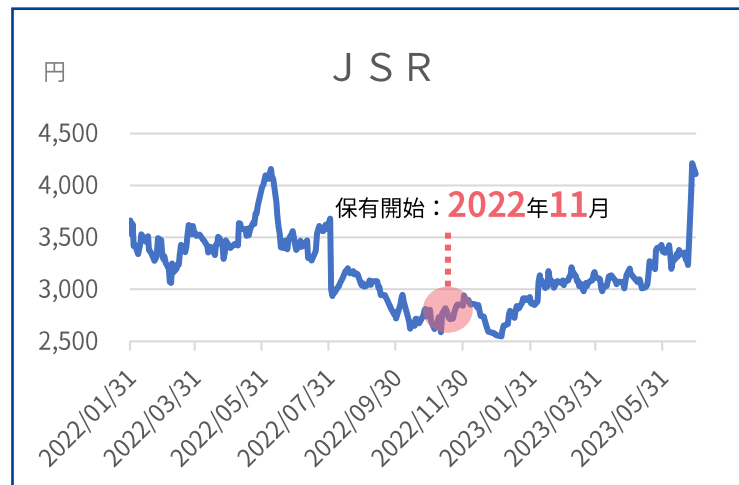
銘柄選定理由

- 欧州・北米事業の拡大で海外利益が急伸。北米で新規工場の建設を決断
- 33種類の栄養素を盛り込んだ「完全メシ」を発売。初年度1000万食を完売

JSR (4185)

世界シェアトップクラスの半導体材料メーカー

- 半導体チップに回路を書き込むときに使われるフォトレジストでグローバルトップクラスのシェア
- EUV (Extreme Ultraviolet) 露光用のフォトレジストでも競争力のある製品を出している
- ライフサイエンスの分野でも医薬品の受託開発製造や、患者腫瘍組織移植モデルを用いた前臨床研究支援などユニークなサービスをそろえている
- 6月26日に産業革新投資機構によるTOBが発表される



出所: Bloomberg

銘柄選定理由

- 次世代製品含めたフォトレジストのシェアと製品開発力
- 医薬品開発の前臨床から、開発、製造まで一貫して支援することができるライフサイエンスの事業ポートフォリオ

中外製薬 (4519)

独自の抗体修飾技術

- 2025年に創業100周年を迎える老舗医薬品メーカー。スイスの大手医薬品メーカー、ロシュグループの一角
- 免疫機能に働きかける**抗体医薬品**を作るのが得意
- 2種類の抗原（ターゲット）に結合できる**バイスペシフィック抗体**や**スイッチ抗体**など抗体を加工する優れた技術を持つ
- 足元では**血友病向けの薬**で大きく成長。**ペプチド医薬品**の創薬にも注力



出所：Bloomberg

銘柄選定理由

- 優れた抗体修飾技術を有し、継続的に革新的な新薬を上市できる確固たる基盤がある

ロート製薬 (4527)

製薬・化粧品 技術力に定評あり

- スキンケアのメラノCCや肌ラボが大幅増収で業績を牽引している
- スキンケア市場で同社製品は消費者からコスパのよさが評価されている
- ロートブランドが急増する訪日観光客のインバウンド消費の対象になっている
- 「製薬会社のつくる化粧品」として技術力に定評



出所：Bloomberg

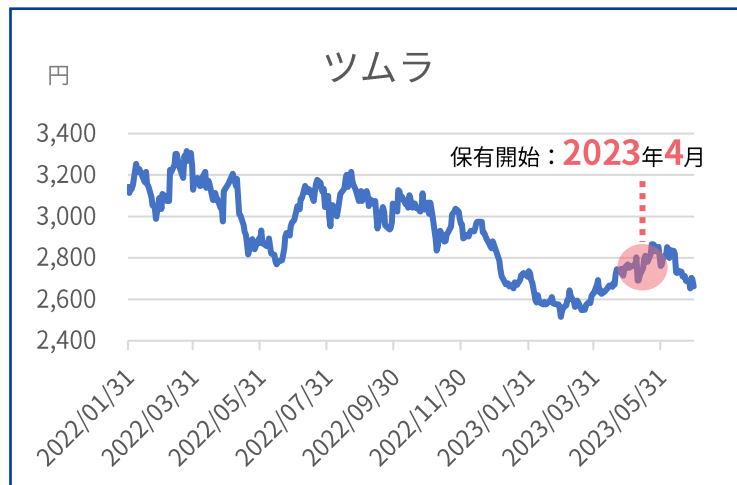
銘柄選定理由

- さらなる新製品の市場投入に期待
- 東南アジア市場の開拓余地が大きい

ツムラ (4540)

医食同源の精神で市場を開拓

- 漢方の薬効について、近年エビデンスが揃ってきた
- 漢方薬を処方する医師の割合が増加傾向にある
- 漢方薬は天然由来で薬価が比較的安く副作用も比較的小さい
- 中国での原料調達を拡充し資本コストを低減
- 中国保険大手の平安保険グループと組み、中国での製薬市場に参入



出所：Bloomberg

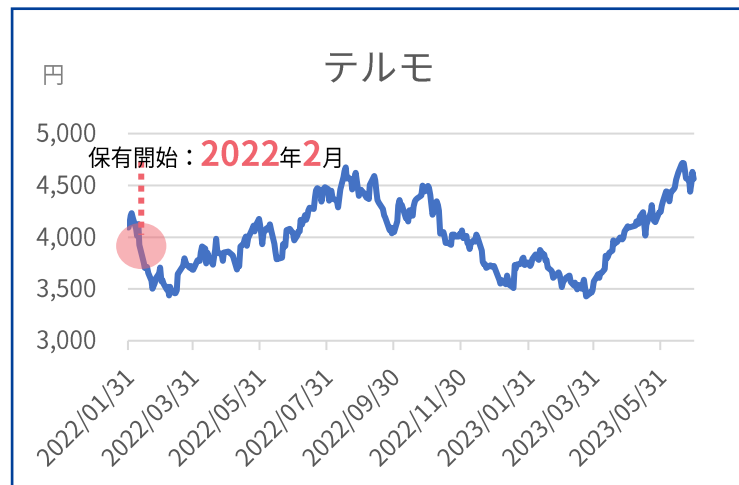
銘柄選定理由

- 病気にならない生活を目指す「医食同源」のコンセプトが時代にマッチ
- 原料を輸入しているため円高メリットがある

テルモ (4543)

低侵襲カテーテルで医療に貢献

- 日本を代表するカテーテルメーカー
- 低侵襲と言われる体なるべく傷つけない医療器具を提供
- 手首の血管からカテーテルを挿入するラジアル手技を普及。止血時間の削減と入院期間が短縮
- 血液から不要な成分を除去するアフエレスシス治療に必要な医療機器や装置など、長期的な成長領域である血液分野にも進出



出所：Bloomberg

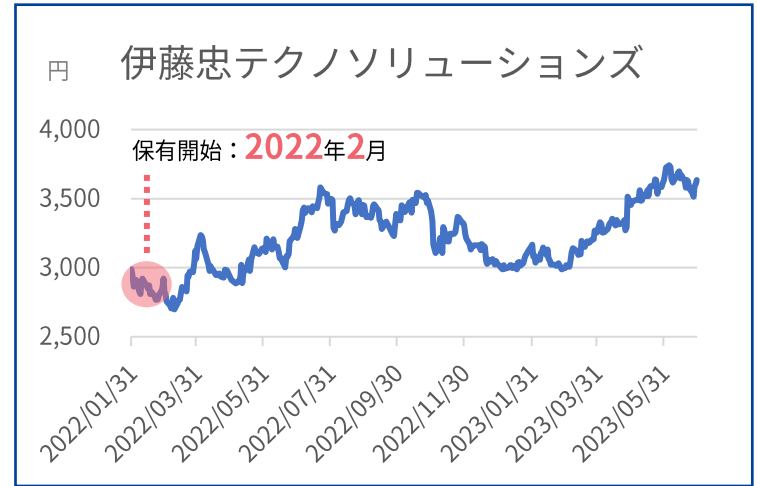
銘柄選定理由

- 世界全体で課題になりつつある医療従事者の人手不足問題の解決に貢献する低侵襲医療器具で高いシェアを有するため

伊藤忠テクノソリューションズ (4739)

ネットワークインフラのスペシャリスト

- ネットワークインフラに強みを持つシステム開発や運用・サービスなどを請負う企業
- 顧客の要望に応じて最適なネットワーク環境を構築できるのが強み。
- 転職市場で人材が不足する中、年間100～200人規模で新卒を採用。自前でエンジニアの育成を行っているのが特徴
- 海外展開にも意欲的。マレーシアやシンガポールなどアジアを中心に拠点を拡張



出所：Bloomberg

銘柄選定理由

- ネットワークの高速化・大容量化・広帯域化により高度化していくネットワークインフラ構築のノウハウと専門性の高いエンジニアを抱える数少ないシステムインテグレーター

エン・ジャパン (4849)

日本のジョブ型雇用を新規事業でサポート

- 若手高度人材のダイレクト・リクルーティング・サービスAMBIの収益化が間近
- 転職広告事業のengageは独自のビジネスモデルが評価されて大きく成長している
- 足元は積極投資でコスト先行となり、株は不人気化
- 来期以降、収益は拡大する見通し



出所：Bloomberg

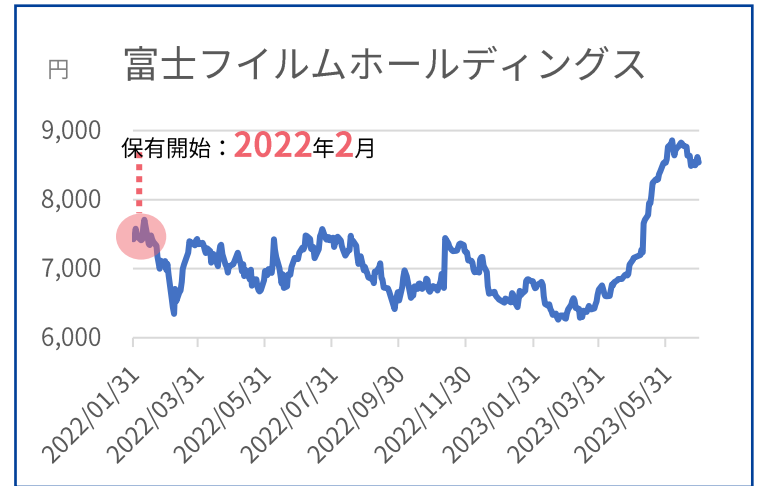
銘柄選定理由

- 日本企業の競争力の回復と共に転職市場が活性化
- 日本企業がジョブ型に移行しつつあり、同社のビジネスチャンスが生じている

富士フィルム (4901)

コア技術を時流に合わせて転用

- 写真フィルム、チェキを代表とするインスタントカメラ、化粧品のアスタリフトなど様々な分野に進出
- 医療用診断機器と医薬品の受託製造でのヘルスケア分野が成長ドライバー
- 医療用画像情報システムでは世界トップシェア。日立から画像診断事業を買収し成長加速
- フィルムで培った「高純度の液体を均一な状態に保つ」技術を半導体部材やバイオに転用



出所：Bloomberg

銘柄選定理由

- 写真フィルムで培った技術を時流に合わせて高付加価値な製品やサービスに昇華させる経営姿勢
- 長期的な市場成長が期待される医薬品受託製造事業での積極投資で世界トップ企業に追いつこうとする意欲

AGC (5201)

ガラスと化学から半導体とバイオ会社へ

- **1907年創業**。板ガラスの国産化に初めて成功した日本を代表するガラスメーカー
- 投資家目線では、**塩ビ・苛性ソーダ**といった化学品、**半導体部材**、**医薬品受託開発製造**の事業に注目
- 半導体部材では、**EUV¹露光用マスクブランクス**と**CMP²スラリー**に期待
- 医薬品受託製造は、M&Aを繰り返しながら**グローバルでの規模拡大**を続けている



出所：Bloomberg

銘柄選定理由

- 高付加価値な半導体の部材と医薬品受託製造事業が成長することで会社全体の利益水準が向上していく

¹Extreme Ultraviolet Lithography：極端紫外線露光

²Chemical Mechanical Polishing：化学的機械研磨

荏原製作所 (6361)

6億人に水を届ける

- 2030年までに二酸化炭素1億トンを削減
+世界6億人に水を届ける+14オング
ストロームへの挑戦
- 2019年就任の浅見社長の下、ガバナ
ンス改革を断行。社員の意識改革で高収
益企業へと進化
- 標準ポンプは国内トップ。高効率・低
消費電力に特徴
- 海外売上比率は63%（2023年3月期）、
将来高めていく



出所：Bloomberg

銘柄選定理由

- 標準ポンプの省エネ性能が世界的に評価されつつあること
- 水素社会の実現に貢献できること

ダイキン工業 (6367)

空調でグローバルトップ

- 過去20年で売上は6倍、利益は20倍に。
- 規律の高い組織で世界との競合に勝ち抜く。独自の18ヵ月決算経営で先々の経営リスクを回避
- ヒートポンプ技術を駆使し、低消費電力と低コストを両立
- 米国でも分散型エアコンへの転換期にあり、売上増に期待。インドでも中国、韓国の競合を凌ぐ。中国では業務用でトップシェア



出所：Bloomberg

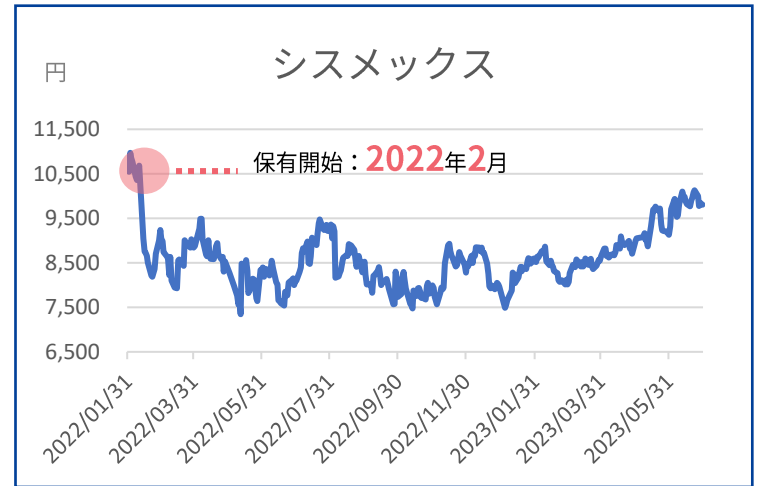
銘柄選定理由

- ヒートポンプの世界標準となっていること
- エアコンが寒冷地でも普及し始めたこと

シスメックス (6869)

トップシェアの血球計数装置

- 血球計数検査の領域では**世界シェア50%¹以上**
- 2023年3月期の売上で**海外比率は85%以上**。米国や中国、欧州の構成比が大きい
- 新型コロナウイルスの影響で医療インフラへの本格的投資が始まった**インドが成長ドライバー**
- 新規事業として、川崎重工と合併会社を作り、手術支援ロボット「hinotori」を開発、拡販に注力



出所：Bloomberg

銘柄選定理由

- 健康状態を把握するのに欠かせない血球計数装置で世界シェアトップ
- 人手不足が叫ばれる医療業界で省人化に寄与する製品開発が得意
- 個別改良の進展に伴い長期的に診断機器の重要性が増していく

¹ シスメックス株式会社 『シスメックスレポート2021』

透過型電子顕微鏡でトップシェア

- 透過型電子顕微鏡（TEM）で高シェアを誇る
- バイオ・製薬向けにクライオTEMを投入
- 半導体製造プロセスにTEMが採用されつつある
- 高収益の産業セグメントはIMS社とのアライアンス。同社はEUVプロセス対応のマスク描画装置のマルチビーム式光源ユニットを担当



出所: Bloomberg

銘柄選定理由

- 理化学セグメントの収益性の改善に期待
- マスク描画装置向け光源ユニットは半導体産業のEUVプロセスの増加に伴い成長する見通し

ローム (6963)

カーボンゼロに貢献 SiCで世界的企業に

- SiC（炭化ケイ素）半導体で世界的企業に
- EV（電気自動車）のハードウェア向け磁気式および容量式ゲートドライバーで高シェア
- EVの普及でSiC-MOSFET（電界効果の高いトランジスタ）の引き合いが1.7兆円超
- 競合はSTMicro, Wolfspeed, Infineon, Onsemiなど海外企業



出所：Bloomberg

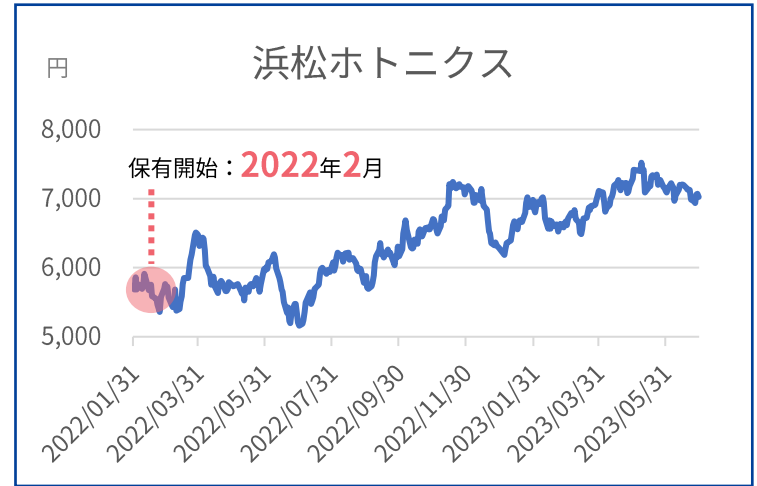
銘柄選定理由

- SiC半導体の急速な普及が期待できること
- ロボットやヒューマノイドへのパワー半導体の採用が期待できること

浜松ホトニクス (6965)

バイオ製薬を陰で支える

- カミオカンデ光電子倍增管を供給。小柴博士のノーベル賞の受賞をサポート
- 光電子倍增管と光半導体で世界的なシェアを誇る
- 医療機器向けや学術研究向けが売上の過半を占める
- 光量子コンピューティング、ステルスダイシンのレーザー光源に期待
- 半導体検査装置、血液検査装置、液体クロマトグラフィーなど最大手企業にシステムを供給



出所：Bloomberg

銘柄選定理由

- 高シェアのフォトンカウンターがバイオ産業や半導体産業で拡大していること
- システム志向を強め自社製品が充実し始めたこと

村田製作所 (6981)

多電源の時代が追い風に

- 5G、EV、自動運転等の普及がMLCC（積層セラミックコンデンサ）の需要を押し上げ、世界シェアトップクラス
- インダクタ（エネルギーを蓄えることができるコイル）でも世界トップ級のシェア
- トータルデザイン志向の経営により、製品開発の早期段階でセットメーカーと対話が可能に。



出所：Bloomberg

銘柄選定理由

- MLCCの拡大の余地が大きいこと
- フィルターなど6Gの普及の恩恵が大きいこと

日東電工 (6988)

ニッチを極める老舗化学メーカー

- 粘着剤や保護材料、センサーの絶縁紙、ディスプレイ用の偏光板などを提供する化学メーカー
- **ニッチトップ戦略**を掲げ、自社の優位性が発揮できる領域に絞ってグローバルに事業を展開
- 長期的に利益成長を牽引するのは**核酸医薬品の受託開発製造**
- **車載ディスプレイやVR向けの偏光板**も成長ドライバー



出所：Bloomberg

銘柄選定理由

- 顧客の潜在ニーズを掘り起こしに行くぶれない経営姿勢
- 長期的な成長が見込まれる核酸医薬品の受託製造市場で高いシェア

島津製作所 (7701)

後発のLCMSで急速に追い上げ

- **LC**（液体クロマトグラフィー）で国内トップシェア。**LCMS**（液体クロマトグラフィー・質量分析装置）で世界的シェアを誇る。最後発企業ながら世界シェアを伸ばしている
- 積極的な新製品の投入が実りグローバル大手製薬企業との取引が始まる。医療の「自前化」を進めたいインドや中国でグローバル販路も拡大中
- グローバルシェアの高い**ターボ分子ポンプ**が半導体製造装置向けに堅調



出所：Bloomberg

銘柄選定理由

- LCMSの拡大の余地が大きいこと
- カラムなど付加価値の高いアフター市場の比率が高まること

フルヤ金属 (7826)

水素社会の実現に貢献する

- 元素イリジウム(Ir)とルテニウム(Ru)に特化した問題解決型経営に定評
- 有機EL発光材料としてイリジウム錯体が急速に受け入れられている
- 製品リサイクル効率が世界で最高レベルにある
- ESG関連として、グリーンケミストリーで基礎化学分野で環境負荷の小さい新規触媒への需要が急成長。ナノ粒子合金開発が環境庁から最大予算プロジェクトに選ばれている。量産は同社が担う

銘柄選定理由

- グリーンケミストリーの主役であること
- 有機ELでは発光材料で青色が新たに採用される見通しが強まったこと



出所：Bloomberg

ユニ・チャーム (8113)

共生社会の実現

- 生理用品「ソフィ」や赤ちゃん用おむつ「ムーニー」、大人用おむつ「ライフフリー」など、日用品で国内トップシェア
- 2022年12月期時点で海外売上高比率6割強のグローバルカンパニーで、特にアジアで高いシェアを持つ
- 世界の人口増加のみならず、高齢化社会でも利益を伸ばせる商品構成。ペットの増加も追い風
- 2022年12月期時点で21期連続増配の安定した配当を実施

銘柄選定理由

- 高いブランド力とシェアを有する
- 女性と高齢者の社会進出をサポートする製品を提供
- 人口増、高齢化の人口動態が追い風



出所: Bloomberg

三井不動産（8801）

グローバル総合不動産デベロッパー

- 日本を代表する総合不動産デベロッパー
- 「街」づくりを通して社会課題を解決
- オフィス・商業・物流・住宅・ホテルなど幅広い分野での開発力
- 幅広い資産をグローバルに保有：2022年3月期の海外事業利益は約19%。
2025年に海外事業利益30%を目指す
- 東京ドームを買収した「スタジアム・アリーナ事業」がアフターコロナの成長ドライバーとして期待される



出所：Bloomberg

銘柄選定理由

- 価格支配力の強い大手総合不動産デベロッパー
- 保有資産（不動産）の質の高さと安定した配当方針
- アフターコロナの成長ドライバーの存在

東日本旅客鉄道 (9020)

鉄道×「輸送＋生活＋IT」

- 会社発足から鉄道復権に取り組み、「輸送」「生活」「IT」事業を展開
- 輸送サービス：人々の生活に欠かせない「信頼」の鉄道インフラを提供
- 生活サービス：駅等を中心としたオフィスやショッピングセンター、ホテルなどの不動産事業を展開
- ITサービス：高いシェアを誇るICカード「Suica」を提供
- 鉄道を起点としたサービスから「ヒトを起点とした新たな価値の提供」に挑戦



出所：Bloomberg

銘柄選定理由

- 羽田新アクセス線などの中長期の成長ドライバーの存在
- 不動産など質の高い資産を多く保有
- アフターコロナでの鉄道収入の改善とインバウンド需要に期待

エンゲージメントの方針

• 開示情報の改善

投資家から不安視されていたり、期待されているポイントが分かっておらず、本当はより押し出すべき要素があるのに全く伝えきれていないケース

(例：シスメックスへの決算説明会における補足依頼)

• 資本政策の改善

親子上場に起因する課題の改善依頼や配当政策を含むアセットロケーションに関する提案

(例：AGCと伊勢化学工業の関係性改善についての提案、フルヤ金属の配当政策に関する提案等)

今後の運用方針

- 厳選25銘柄を軸に企業との対話を継続。
マクロ環境や事業環境が容易く変化する時代においては、
柔軟かつ弾力のあるビジネスモデルを厳選。
- 日本には**国際競争力**の高い事業領域が数多く存在、それぞれの分野における**トップ企業を厳選。**
- 現金比率は5%以下。投資先は多くとも30銘柄程度に収める方針。
- **エンゲージメント**について、企業の事業内容をしっかりと理解し、投資先企業との対話を継続。当社と投資先経営陣との信頼関係を構築する。投資先の経営内容については、**共創日本会議**などで受益者の方々にも丁寧にご説明。
- 銘柄の入れ替えは必要に応じて実施。
理由は個別の株価は大きく変動する場合があるため。
あるいは、外部環境や業績の見通しが大きく変化した場合にも入れ替えは必要。
現保有銘柄よりも株価のアップサイドが大きな銘柄が発掘できた場合は、
新規にポートフォリオに採用していく方針。

ご留意事項

■当資料は情報提供を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。また、投資信託は銘柄ごとに設定された信託報酬等の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書（交付目論見書）に詳しく記載されております。お申込にあたっては販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■この情報は、閲覧者ご自身のみのもとし、転載、または、第三者への提供は禁止します。

■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。

■投資信託に関するリスクについて

◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するセゾン共創日本ファンド（以下当ファンド）は、株式に直接投資を行うファンドであり、主として、国内の金融取引所に上場している株式に投資を行います。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、当ファンドはその影響を受けます。（「価格変動リスク」）また、当ファンドは、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は相対的に大きくなる可能性があります。（「集中投資リスク」）その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。また、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。

◆その他のご留意点

投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。

お取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

ご留意事項

投資信託に関する費用について

◆投資者が直接的に負担する費用

○購入時手数料：ありません。

○信託財産留保額：換金申込受付日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○運用管理費用：ファンドの日々の純資産総額に年1.012%（税抜年0.92%）の率を乗じて得た額とします。

○その他費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

当資料で使用しているデータ等について

TOPIX（配当込み）の指数値及びTOPIX（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社の知的財産です。

「Bloomberg®」は、Bloomberg Finance L.P.、および同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークです。

ブルームバーグは、ブルームバーグ指数に対する一切の専有的権利を有しています。ブルームバーグは、このマテリアルを承認もしくは支持するものではなく、また、このマテリアルに含まれるいかなる情報の正確性もしくは完全性についても保証するものではなく、明示黙示を問わず、このマテリアルから得られる結果に関していかなる保証も行わず、また、法律上認められる最大限度において、ブルームバーグはこのマテリアルに関して生じるいかなる侵害または損害についても何らの責任も債務も負いません。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

商号：セゾン投信株式会社（設定・運用・販売を行います）
 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第349号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会